

障がい児支援キャンプ フクロウ 8月19日～21日 ハヶ岳少年自然の家



山梨 YMCA 会館のこれからについて

山梨 YMCA 理事長 大澤 英二

現在の青少年センターが開館して45年になります。「YMCA は建物ではない、それを創り出していく運動である」という言葉があります。その議論はいずれ触れるとしまして、自前の会館を持つなどということは夢のように考えられていた時代に、この中央5丁目、甲府連雀問屋街に建設されました。内外の若者、青少年、子どもたちを初めとして数多くの県市民の方々に広く利用され親しまれてきました。創立60周年記念会の時のフレーズは”山梨の青少年と共に60年”だったことはまだ記憶に新しいところです。もちろん、その前にも自分たちの活動の拠点を持っていました。旧百石町、現丸の内2丁目に第一生命保険会社の古い建物を譲り受け、活動を展開していました。さらに遡れば、終戦直後、山梨 YMCA が創立発会した当時、青年有志が集まり発足したばかりの甲府ワイズメンズクラブ会員の全面的協力募金により、山小屋風の会館が献堂されたことは長く語り継がれたことでした。YMCA はこのようにして絶えず地域の青少年の集まる場所を提供してきました。YMCA は日本と世界に仲間を持つ国際的な団体です。聖書の精神に立脚し、世界の人々と共に平和な居場所を実現創出したい目的を持ち、そのために奉仕するボランティアの会員と専門スタッフが集められ、組織作り、必要な様々な活動、事業、プログラムを展開してきました。思いつくままに列挙すれば、青年の各種クラブ・グループ活動、国際理解・交流・協力、奉仕活動、英語・中国語教室、高校生の研修・奉仕活動、ボーイスカウト・ガールスカウト活動育成とリーダー養成支援、幼児の保育つぼみぐる〜ぶ、音楽・書道・創作教室、体育教室、各種キャンプ・野外活動、小学生の学童保育プライムタイム、チャリティーラン、バザー、障がいのある子どものプログラム、高齢者プログラムぶどうの木等々。公益財団法人に認定され、さらに幅広い事業活動展開が地域社会より要請されている昨今です。現時点の最大の課題は、現青少年センターがこの数年のうちに山梨県・甲府市の道路計画により解体・移動・移転・新築、いずれか実施に向けて動き出していることとあります。今年度の事業方針・計画の冒頭に掲げられている「基本聖句」は、何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある」です。(旧約聖書 コヘレトの言葉3章1節)このような時にあたり、会員皆様の深いお祈りと、ご理解ご協力をお願いする次第です。

“互いを認め合い、高め合う豊かな社会を創る”

山梨YMCA総主事 露木淳司

世界中に広がるYMCAは日本全国にも35の都道府県にあり、様々な活動を行っています。では、それぞれの地域でどんな活動を行っているのか、また、そこにいる人々はYMCAをどのような団体であると認識しているのか、皆自由に運営しているのでバラバラで、非常にわかりにくい状況になっています。そこで、全国のYMCAでは統一したイメージで、共通のツールを使って広報戦略を確立しようと、YMCAブランドの再生に取り組み始めました。全国一万人のYMCAに連なる人々からデータを集め、また、YMCAに関わっていない人からもモニタリングをし、YMCAへのイメージを整理しました。そして、最終的に受け継ぐべきもの、変えていくべきものを分析し、このほど、その土台となるブランドコンセプトが発表されました。一言でまとめると、「YMCAは“したい何かが見つかり、誰かとつながる。私がよく、かけがえのない場所”であり、“互いを認め合い、高め合うポジティブネットのある豊かな社会を創る”ことを目指す」ということとなります。そして今後、この、ちょっとわかりにくいコンセプトをベースに、よりわかりやすい共通のスローガンやロゴマークを定め、2018年4月からのパンフレットやポスター、WEBサイトに反映させていきたい考えです。

折りしも、山梨YMCAは現在の会館前の道路が拡幅されることが決まっており、解体を余儀なくされております。代替用地をどうするか将来計画検討委員会で活発に協議検討がなされておりますが、少なくとも2020年東京オリンピックの年までには計画を実現させたいという意向で進んでいます。その中でこのブランディング作業で行われていることを大いに活用し、地域の人にわかりやすい、そしてその存在が喜ばれるYMCAにしていかなければならないと考えています。



全国で行われたブランディングワークショップのひとコマ

第19回山梨YMCAインターナショナル・チャリティーラン2016 開催

6月11日に小瀬スポーツ公園にて開催されました。今年は補助競技場という初めての会場でしたが晴天の下、緑に囲まれて、



大勢のランナー、ボランティア、スタッフの方々が参加され、楽しい一日を過ごすことができました。54チーム参加、順位は1位昭和測量、2位 山梨YMCA ぶどうの木、3位 シャルム城キッズダイヤモンドでした。皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。



熊本地震災害支援募金

ご協力ありがとうございました。

募金総額 149,923 円

6月20日熊本YMCAへ送金致しました。

熊本地震の被災地、益城町の避難所に指定された運動公園は、熊本YMCAが指定管理者として運営している施設です。YMCAが直接運営していることで、直ちに全国のYMCAのスタッフやボランティアが集結し、炊き出しなどの生活ケアや瓦礫の撤去だけに留まらず、子供たちや高齢者への的確な対応が実現しました。YMCAネットワークと日常の事業活動がそのまま活かされたのです。このことは山梨で災害が起きたときの大きなヒントとなり、日頃からYMCAが地域に根ざし、世界につながる活動をしていることが、如何に意義のあることかを痛感させられました。

わいわいTOPICS 夏の思い出



夏のわいわい地球塾も大盛況でした。合計24プログラムに述べ279名の子も達が参加しました。「キッサニアでお仕事体験」は、特に人気のプログラムで計4回行われました。真剣な顔つきで説明を聞き、やや緊張しながらも憧れの仕事をたくさん体験することができておりました。



つぼみグループ



キャンプは、計4本に述べ75名の子も達が参加しました。本栖湖の「わくわくキャンプ」では、カヌーやパドルボード、湖で思いっきり遊び満喫していました。「にんにんキャンプ」では、忍者の里、戸隠で忍者修行の体験。魚のつかみ取り、そば打ち体験など、信州ならではのプログラムでした。歴史を重ねてきた障がい児「フクロウキャンプ」は、ハヶ岳少年自然の家にて2泊3日のプログラムを楽しみました。甲府ワイズメン、甲府21ワイズメンからはお風呂の介助とスイカの差し入れ、富士五湖ワイズメンからはクラフト用うちわの提供、甲府シティーロータリーの皆さんは10数名で訪問くださり、カレー作りの協力を頂きました。

つぼみぐるーぶは9月9日、芸術の森公園に園外保育に出かけました。前日まで雨模様の天気でしたが、澄みきった青空の下、お休みする園児もなく9人の園児と3人の先生方と公園の中を散策致しました。どんぐりを見つけたり、大きな岩陰でかくれんぼをしたり、広い芝生広場でお友達と一緒に、お母さんが作ってくれたお弁当を食べたりして、楽しい園外保育でした。



プライムタイム



学童保育プライムタイムは、甲府市委託の放課後児童クラブと合同になって2年目を迎えました。青少年センターに加えて、新拠点として南西のぞみの家を開所しました。公園が隣にあり、より一層のびのびとした空間で子ども達は過ごしております。今年の夏休みは、平均60名が利用しました。夏休みの活動につきましては、野外活動の他に、パルシステム山梨の協力を得て、食育を中心とした室内わいわい地球塾との合同プログラムを行いました。子ども達自身がお店を出す夏祭りや流しソーメンなど夏のイベントも実施し、主体的に動く頼もしい子ども達の姿がありました。



室内サッカー教室

2016年度より山梨YMCAでサッカー教室を設立しました。現在は年長から5年生まで約10名のメンバーが参加しています。夏休みを楽しく過ごしたメンバーは、9月より毎週金曜日に元気いっぱい活動をしています。YMCAサッカーはメンバー達の発育や発達を考慮し、長期的な視野に立ってサッカーを楽しむことを大切に指導しています。またサッカーに必要な基本技術を繰り返し行ない、試合を通して習得した技術を活かせるようにメンバーは考えながらプレーしています。笑いあり涙あり、懸命に頑張っているメンバーを見ていると、今年の冬には一回り成長したメンバーの姿が目に見えます。

秋のわいわい地球塾

※それぞれ詳しい案内をご請求下さい。

ススキの迷路で

カレーオリエンテーリング

ススキの迷路に隠されたカレーの具材を探し、無事全部ゲットできたら、みんなでカレーを作ろう！

- 対象 小学1～6年生
- 期日 10月22日(土)
- 行先 富士山YMCA
(朝霧高原)
- 参加費 5000円



みかん狩りに行こう！

- 対象 幼児年少～小学6年生
- 期日 11月23日(水) 勤労感謝の日
- 行先 宇佐美農園
(伊東市)
- 参加費 5000円



第56回 YMCAバザー 献品受付中

今年もバザーの季節がやって来ました。例年通り11月3日(木)に開催致します。どうぞ皆様、ご家族、ご近所の方々などお誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。現在、献品の受付を致しております。ご家庭に遊休品等ございましたらぜひご協力をお願いいたします。

献品は10月28日までにYMCA事務局にお届けください。また、お電話いただけましたら受け取りにお伺い致します。多くの皆様のご支援をお待ちしております。



YMCA、ポーテージ協会共催

秋のファミリーキャンプ

みかん狩りと十国峠の大パノラマを楽しもう！

- 期日 11月26日(土)～27日(日)
- 宿泊 箱根の里(三島市)
- 参加費 通級者7000円、保護者、兄弟5000円



一人ひとりを大切にするYMCAのプログラム。

学童保育「プライムタイム」

学校までお迎え、自宅まで送ります。習い事オプション可能。
6年生までOK。夜7時までお預かり。

YMCA English School

幼児から成人まで、英会話、TOIEC対策はYMCAで！



2 才児保育 つぼみグループ 新年度生受付

スキーキャンプ／冬のわいわい地球塾 10月下旬 受付開始

温かい、繋がる、支え合う、学び合う

山梨YMCA岡島デイサービスセンター「ぶどうの木」